

基盤共通教育 ニュースレター

つばさ

TSUBASA

[巻頭言] 「生徒」から「学生」へ 一自ら考えて学び、行動する—

山形大学長 小山 清人

青年よ 大志を抱け Boys be ambitious

山形大学理事・副学長、学士課程基盤教育機構長 安田 弘法

[コラム] 幅広い知識と教養を身につけよう! 基盤教育企画部 田島 靖久

表紙について

Vol.1

木漏れ日が差し込む春の午後のひとときの小白川キャンパス基盤教育1号館前。陽光きらめく桜木の花が、入学間もない新入生を出迎えるように咲き誇っています。

学部・学科の垣根を越えて、基盤共通教育の学びに積極的に飛び込んでみましょう。総合大学ならではの様々な新しい発見・出会いの機会が必ずあります。山形大学では、特色である基盤共通教育の多彩かつ充実したラインナップの科目群が、みなさんの履修をお待ちしています。

春夏秋冬の季節ごとに彩りや情景が映える山形の地で、みなさんが有意義な学生生活を送れるよう応援しています。



「生徒」から「学生」へ —自ら考えて学び、行動する—



小山 清人

(いやま きよひと)

山形大学長

山形大学にご入学のみなさん、誠におめでとうございます。みなさまを心から歓迎いたします。さて、みなさんは大学に入学し、これまでの「生徒」ではなく「学生」となりました。学生とは、ただ教えてもらうのではなく、自ら課題を見つけ、学び、追求していく者です。分からぬことや興味のあることがあれば、まずは、自ら考え、調べ、その上でさらに、友人や先輩、教員等と議論を深めてください。

大学の学問及び研究、そして実社会では正解が一つとは限りません。また、決められたことを指示どおり

にやるだけでは済まないことが数多くあります。それらの課題に対応し解決していくためには、基礎学力と教養を備えている必要があります。山形大学では「基盤共通教育」をまずみなさんに履修していただき、大学での学びに欠かせない基本的な学習方法・基礎学力のスキルを磨くと共に、幅広い分野の教養を学び、人間力を養います。

また、基盤共通教育の多くの科目

では自分の所属する学部以外の学生や教員とも接することができるのでき、できるだけ出会いを大切にして、積極的に自分から行動してください。山形大学は6学部を擁する総合大学です。全国各地から、世界各国から集まつた学生たちが、様々な分野の学問を同じキャンパスで学びます。自分とは異なる生き立ちの相手との学びや課外活動等での交流は、必ずみなさんのお大学生活、そして社会に巣立つ後の今後の人生を豊かにする大きな糧となることでしょう。ぜひ総合大学の優れた点を実感・吸収してください。

四季折々の自然や文化に恵まれた山形は、勉学・研究に励み、充実した学生生活を送るには絶好の地域です。私たち教職員も一丸となり、みなさんと一緒によりよい大学づくりを目指しますので、共にがんばっていきましょう。



安田 弘法

(やすだ ひろのり)

山形大学理事・副学長、
学士課程基盤教育機構長

青年よ 大志を抱け Boys be ambitious

北

大農学部の前身、札幌農学校で教鞭を執られたクラーク博士は、教え子との別れに「Boys be ambitious、青年よ大志を抱け」の言葉を残された。そして、「大志とは、お金のためではなく、私欲のためでもない。また、名声という虚しいものでもない。人は如何にあるべきか、その道を全うするために大志を抱け」と述べられた。

入学おめでとうございます。今年も新入生を迎え、教職員一同、とても嬉しく思います。みなさんが、山形大学に入学された理由は色々だと思います。入学時の「初心、志を忘れず」に、在学中に色々と挑戦し、学生生活を楽しんで下さい。挑戦し経験することで考へ、時には失敗して学ぶ、これらを通じ自ら成長します。百歳の時に、三十年分の仕事を

材料を買い込んだ、彫刻家の平櫛田中さんは「挑戦、挑戦、また挑戦。やつてやれないことはない。やらずにできるわけがない。今やらずして何時でかかる。わしがやらねば、だれがやる」と言って仕事をされたとのことです。クラーク博士の教えを受けた人に新渡戸稻造博士がいます。博士は、札幌農学校を卒業され、東京帝国

大学文学部の面接試験で「君は何のために大学に入学するのか」と問われ、「我、太平洋の橋たらん」と答えられたそうです。博士は、明治33年米国で「Bushido : The Soul of Japan」（武士道）を出版され、国際連盟事務次長等の要職に就き国际社会で活躍されました。

今は国際化の時代です。山形大学は、国際化への教育も行っています。そのついに、学生諸君が新興国の大學生に行き、現地の学生に英語で日本語等を教え国際交流を図る「学生大使」プログラムがあります。これに参加した多くの志ある先輩は、現地での困難を克服し、多くの友人を作り、人間に成長して帰国します。

多くの新入生諸君が、このプログラムを活用し国際人の資質を習得することを希望します。

学生時代には、「人生を如何に生きるか、人は如何にあるべきか」等、生きる上での本質的な命題を考えることも重要であり、先人達が如何に生きたかの人間学の学びや、人間性を磨くことも必要です。志や人間性を磨き、健康で強靭な体力を作り、人間力を身につけて下さい。期待しています。

幅広い知識と教養を身につけよう！

新入生のみなさん、御入学おめでとうございます。

これから始まる新しい大学生活に期待を膨らませていることと思います。

大学での講義は、教科書から学ぶ

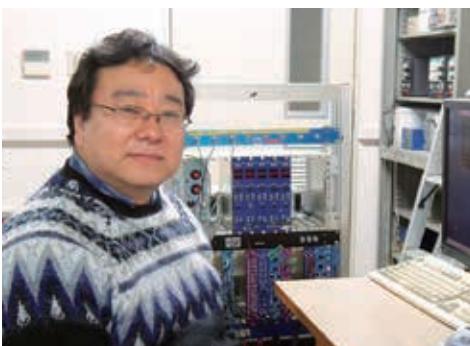
という受け身の授業だけではなく、自ら課題を見つけて調査・研究をすすめ、論理的な思考の下に自分の意見（思想ではなく！）をまとめるといった形式の講義が増えています。受験勉強を乗り越えやつと大学に入学して、さあこれから自分の目標を専門の勉強を頑張るぞ、ということころで専門とは関係ない「基盤共通教育」の講義をとらなくてはいけないというのは、なかなか納得しがたいところもあるかもしれません。

しかし、複雑多様化した現代社会では、ある一つの専門の中だけで生きいくことはできません。医学・工学の専門に進むにしても、研究に関する倫理観や法律遵守など、社会の動向によって大きく関わっていきますし、経済学・社会学を学ぶにしても、最新の技術動向で社会も大きく変化してきたりもしています。そして世の中には教科書やネットで回答が得られない課題というのもたくさんあります。そういうつた課題

は幅広い知識と論理的な思考がないと解決できません。

山形大学の基盤共通教育では幅広い視野と教養、新しい発想、人間としての深みを身につけるための様々な講義を用意しています。

卒業して社会で働くようになると、自分の専門以外の教養科目も「あのときもっと勉強しておけばよかったなあ。」と思う人が大勢います。自分の専門には関係ないからといって軽視しないでください。あらゆる経験は自分の将来の糧になります。積極的に様々な分野の講義をとつて知識を増やし、充実した楽しい大学生活を送ってください。



基盤教育企画部

田島 靖久

(たじま やすひさ)

column



導入科目／スタートアップセミナー

大学での学びと「スタートアップセミナー」

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。さて皆さんはこれから大学での学びを始めるわけですが、大学での学びでは最近「学習」より「学修」という言葉が使われることが多いです。この「学習」は与えられた知識を理解し覚えるという意味が強いのに対し、「学修」では自ら学問を学び修めるという主体的な関わりが重視されています。

技法を修得するための授業です。グループで共通のテーマに取り組み、討論や議論を通じて理解を深めたり共同で発表内容をまとめたり、自分の関心のあるテーマを設定し、調査・情報収集を行いレポートを作成するなどの具体的な取り組みを通じて、皆さんがこれらの大学生活の中で「学修」していくための基本的なスキルを身につけること

自ら学問を学び修めるスキルを身につける

います。学問の本来の目的は、この言葉が示すように新しい課題を見つけて取り組むことを通じ、問題を解決したり、新たな発見や発明などの成果を達成することになります。

皆さんが一年次前期に必修科目として履修する「スタートアップセミナー」は、このような大学での主体的な学修にスムーズに適応できるよう、プレゼンテーションやグループワーク、レポートの書き方、調査・情報収集の方法など主体的・能動的な学修のために必要な

過去と現在の山形県から見えてくる魅力

い。山形県立博物館に展示してある舟形町の縄文の土偶は国宝（展示照明は山形大学の誇る有機EL）ですし、高畠町の押出遺跡の縄文土器は、日本文化の代表として海外で何度も展示されています。最近では、寒河江市の慈恩寺の仏像が、イタリアで多くの人を感動させました。奈良や京都にいかなくても、重要文化財の仏像たちを間近でみれるのです！

歴史からは、いかに山形が、東北が「豊か」で、ゆえに中央と常に関係していたかがわかります。教科書で習った歴史のイメージ

を聞くと「目立つ歴史はない」「自慢できるものが、なにもない」の、ないないづくり。自虐的な言葉に、教員は思わず……ニヤリ。そのイメージ、必ず変わります！前半は、山形の歴史の勉強です。暗記は一切ないから大丈夫。それより、授業で登場する全国区の文化財たちに興味を持ったら、ぜひ足を運んで見に行って下さ

じが、気にくひつくり返ることでしょう。後半では、現在に目を向けています。ラーメン消費量全国1位の山形、美味しいお店もたくさんあります（店舗数も全国1位）。しかし、その背景には、伝統的に蕎麦文化が脈々と受け継がれるなど山形の気候・風土が素地となつたこと、関東大震災で移住した中華街の人たちがラーメン文化の牽引役となつた背景があります。

科目紹介

豊かな歴史・魅惑のグルメ、山形の宝を学ぶ

基幹科目／山形から考える／山形の歴史と文化



下平 裕之
(しもだいら ひろゆき)

人文社会科学部
人文社会学科
地域公共政策コース



荒木 志伸
(あらき しじん)

基盤教育企画部



また、県外からの学生がスーパーで驚愕する見たことの無い野菜たち。実は、山形は京野菜（京都）、加賀野菜（金沢）と並ぶとも言われる伝統野菜の産地なのです。おかげじき、温海かぶ、青菜など、栄養も豊富で美容によいものばかりで、手軽なレシピも紹介します。これ以外にも、山形の誇る日本酒造りや食文化など、たくさん魅力をご紹介します。

夏に帰省するときには、ご家族や友人に、胸を張ってたくさんのスーパーな「山形」を自慢できることがあります。

歴史学と教養の扉



十川 陽一
(そがわ よういち)

人文社会学科
人文社会学科
人間文化コース

教養科目

これまでに多くの勉強を経験した中で、一度は歴史の授業も受けてきたことでしょう。大学でも、歴史を学ぶ機会はたくさんあります。歴史を学びたい人もいるでしょうし、”またやるの？”“自分は興味ない”と思う人ももちろんいるでしょう。

大学で学ぶ歴史とは、教科書に出てくる出来事の暗記ではありません。もちろん基本的な作業は、史料に基づいて

過去の人々の営みを理解し教養を深める

事實を復原するということです。教科書にある歴史的な出来事が記されるにも、その根拠となつた史料があります。史料を読み直したり、他の史料と照らし合わせれば、教科書の記載とは異なる理解や、全く新しい事實にたどり着くことができるかもしれません。こうして復原した事實を積み重ねてゆく。そして、それから見出される歴史の流れを踏まえて、究極的には人間の営みによってどのように社会が形作られてきたのか、という理解に近づいてゆくこと。

それが大学で学ぶ歴史、すなはち歴史学です。私の担当する「日本史の中の古代」では、そんな歴史学への入り口として、現代まで続く日本の歴史の中で、古代の制度や出来事が果たした役割について考えます。少し壮大な物語になりますが、歴史に関心のある人もそうでない人も、楽しんでいただければと思います。

ところで、大学でどんな学問をする

にせよ、あるいは卒業後どんな仕事に就くにせよ、現在・過去の様々な事象に興味を持つて目配りしておかないと、薄っぺらな成果しか挙げられません。画像資料なども紹介しながら、過去の人々の豊かな営みに触ることで、皆

ばと思っています。

自己理解から始めるキャリアデザイン

「デザイン」の授業について紹介します。

この授業は「自己理解」をキーワードに、自分らしさについて考えることを目的としています。本学が掲げる人生を強く豊かに生きていくための「人間力」を高める上でも、将来の進路について考える上でもベースとなる部分であるからです。授業では、様々なワークを通して、自分自身の過去を振り返り、参加する学生同士で語り合うなかで自分を見つめ直し、自己理解を深めていきます。そのためペアワークグループワークが中心の授業になっています。履修した学生の「メント」のなかに

は、「高校までは自分というものを考えたことがなくて、ただ茫然と一日を過ごしていました。しかし、大学でキャリアデザインの授業を受けて、自分というものが段々と分かり始めました。そして最後にはまだ分からることはあるけど、自分ってこういう人間なんだと自分を客観的に見つめられ、自分らしさを見つけられた。」とう「メント」がありました。

また様々な学生同士の交流を通して、

共通科目

松坂 暢浩
(まつさか のぶひろ)

基盤教育企画部



社会で求められる能力として挙げられる「コミュニケーション能力」を高めることも併せて目指しています。始めは慣れずに戸惑う学生も多くいます。しかし、お互い助け合い、励ましながら取組むことで、少しづつできるようになります。これまでコミュニケーションに不安を持っていた学生から「授業外でも他の学生と交流ができるようになった」という「メント」がありました。

ぜひ大学生活のスタートにあたり、一度立ち止まって自分について考える時間を持つてみませんか？

導入科目／スタートアップセミナー

スタートアップセミナーについて

大学に入学し、誰もが不安に思うこと、それはレポートとは何か。プレゼンテーションはどのようにしたらいいのか。などの不安であると思う。しかし、山形大学には1年生全員が前期に必修で受ける「スタートアップセミナー」というものがある。私はこの授業のおかげで大学生になつてやるべきことや知っておくべき知識が養えたと思う。そして

学びを深めるための基本的な知識を習得

て、少人数クラスでの授業ということもあり、友達もできた。当然この授業も単位に入り単位を落とすと後期に再履修となってしまうので、めんどうくさがらず授業に積極的に参加してほしい。

私は、下平裕之先生という先生が担当であったので授業の雰囲気も和やかな感じで進められた。この授業で印象に残っているものはプレゼンの授業である。これは、5～6人でグループを組み先生が提示した問題に対してその原

因を思いつくまま紙に書き出しそれらをグループ分けし絞込み、何が最も原因として根深いかを見つけ、それを踏まえてプレゼン資料を作成し、5分前後でプレゼンテーションを行うというものだつた。このような形式の授業をやったことがなかつたので新たに学んで得ることが多かつた。みんなである問題に対して考え方解決策を模索するという経験をして考え解決策を模索するという経験

科目紹介

フィールドワークを通して学んだこと

私は前期・後期に「フィールドワーク－共生の森もがみ」という集中講義を受講した。この講義では山形県の最上地域にある市町村に行き、その地域の人たちと一緒に活動することができる。そのため、私は山形の様々な地域に行つて、今まで自分が触れたことのない何か新しい経験をしたいと思い、この講義を受講した。まず、前期に戸沢村に行

地域のために何をするべきかを考える

き、土木作業、地域の祭りの運営などをを行つた。特に私が印象に残つていることは、野生のホタルを見ることが出来たことである。自然の豊かさを肌で感じることができた瞬間だった。後期には金山町に行き、なし団子祭り、雪囲い作業、餅つき大会などを行つた。私の地元は雪があまり降らない地域であるため、雪囲い作業を初めて行い、新鮮な体験をすることが出来た。

これらの活動を通して、私が感じた

ことは、地域の文化の大切さである。伝統行事、祭りごと、その地域の食べ物など、これらは長い年月を経て受け継がれてきたものであり、より多くの地域の方々の間で年代を問わず広がっていく必要があると考えた。また、どの活動も地域の方々と一緒に行ったことから、地域の方々の温かさを感じた。地域の方々と私達学生が関わること

基幹科目／山形から考える／－共生の森もがみ／フィールドワーク



中鉢 勉哉
(ちゅうばち まさや)
人文学部
法経政策学科 2年

導入科目

眞柄 翔子
(まがら しょうこ)
地域教育文化学部
地域教育文化学科
児童教育コース 2年





大久 有紀子
(だいきょう ゆきこ)
医学部
看護学科 2年

教養科目

科学の視点からみる「音楽」

私は、幼い頃から続けてきたピアノや吹奏楽など、自分のこれまでの音楽経験と何かつながるものがあればと思い、「音の科学」を受講しました。この授業では、普段何気なく聴いているポップスやクラシック、音の響きや音色などを物理的な視点から捉え、ただ「聞く」だけではなく、どんな加工や技術によって音が成り立っているのかを深く考える

な信号処理や、発話速度の違いでも調整できるような技術が組み込まれていて、それらを用いて瞬時に判断しているという点に驚きました。現在では指纹認証が一般的ですが、この「音声」を利用した認証も様々な場で役立つのではないかと思います。

また、私はこの授業を通して多くのアーティストの曲やクラシック音楽を聴

ることができました。毎回のテーマとして「音の錯覚」や「建築音響」「騒音・振動」「超音波」などがあり、身近なものから専門的な音の技術まで、幅広い分野の知識を増やすことができました。特に印象に残っている内容は「声の鍵」という、音声を用いた認証システムについてです。音声での認識というと、声が似ている場合や声真似をされてしまつた場合は見抜けるのかどうかという疑問を持ちましたが、「声の鍵」では声帯による影響を無視できるよう

音楽から広がる科学への応用

きました。初めて耳にするものが多くつたので、毎回どんな曲が聴けるのか楽しみでした。自分の音楽に対する興味を広げることで、素晴らしい授業だただと思います。

基礎共通教育では、自分の専門分野以外に興味・関心のある授業を自由に履修することができます。自分が興味を持つて選んだ授業での学びは、今後の大学生活でも大いに役立つと思うので、積極的に学んでいくという姿勢が大切だと感じました。

様々な職種や企業を知り進路選択に活かす

この授業の魅力は大きく分けて2つあります。

1つ目は、様々な職業の方のお話を聞けることです。金融、経済、法律に関する仕事をしている方々から、直接お話をいただき、意見交換をしたりできます。専門家の視点から見た「社会に出る上で知つておいてほしいこと」を教えてもらえるのが大きな魅力です。

人と出会い、話を聞き、対話をして考える。自分を深める体験をぜひ「キャリアデザイン」の授業でしてみてください。

2つ目は、山形の企業を知ることです。この授業では、グループごとに1つの企業について調べ、その魅力を

自分を見つめるきっかけに



斎藤 琢理子
(さいとう えりこ)
人文学部
人間文化学科 2年

共通科目

他の学生にプレゼンするというワークがあります。私は宮城県出身で、山形の企業のことは、あまり知りませんでした。しかしこの活動を通して「山形にかおもしろそう」という軽い気持ちで履修を決めた私ですが、人との出会いや新たな発見があり、履修して良かったと思っています。ここでは、後期に履修した「社会理解」の授業について紹介します。

私は「キャリアデザイン」の科目から「自己理解」と「社会理解」の2つの授業を履修しました。最初は「なんかおもしろそう」という軽い気持ちで履修を決めた私ですが、人との出会いや新たな発見があり、履修して良かったと思っています。他にも知らない魅力的な企業があるのではないかと考え、今後の就職活動にもこの発見を活かしたいと思っています。

自分と異なる考え方を持つ人や世代の異なる人と話することは、疲れるし大変だという人もいるかもしれません。しかし、あってそれに挑戦することで自らの視野を広げられます。また、自分の考え方を見つめ直すことにもつながり、それがより確固たるものになると私は考えています。

人と出会い、話を聞き、対話をして考える。自分を深める体験をぜひ「キャリアデザイン」の授業でしてみてください。

人文学部
人間文化学科 2年

佐々木 和城

(ささき かずき)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

基盤共通教育では様々な分野の講義を受講することができます。自分の興味があることはもちろん、自分が触れる事のなかった分野に関しても学ぶことができます。自分の専門以外で興味があるなら、ぜひその講義を受講してみてください。自分の視野が広がると思います。

視野を広げる

地域教育文化学部
地域教育文化学科
造形芸術コース 2年

千葉 麗那

(ちば れいな)



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に期待と不安が入り混じっているかと思います。1年生では基盤共通教育が中心となり、自分の専門分野だけではなく様々な分野を学ぶことができます。基盤共通教育は学部関係なしに新たな友人と共に視野を広げる良い機会です。これからの大学生活を楽しんで下さい！

先輩から のメッセージ

理学部
生物学科 3年

萩田 小夏

(はぎた こなつ)



新入生の皆さん、山形大学へようこそ！

学びたいことはありますか？

挑戦したいことはありますか？

大学生は学ぶも遊ぶも本人次第、今までにない自由があります。私は山形に来てから、飛島や月山、小笠原諸島、ラトビア、ケニア…と東北の自然、世界の広さを全身で体感し、はつらつとした日々を過ごしていますが、もう2年が経とうとしています。早い！

サークルに入るのも、アルバイトを頑張るのも良いですが、この自由な4年間にしかできないことを是非見つけてください。大学生を最大限に楽しんで！

基盤共通教育を受ける新入生の皆さんへ

工学部
機械システム工学科 2年

宮本 愛理

(みやもと あいり)



新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。

皆さんがこれから数年間を過ごす山形大学では、1年生時に多くの基盤共通教育科目を履修します。ここでは経済学や心理学、物理学など様々な分野の講義を受けることができます。自分はこの中のいくつかの講義を受けることで専門分野以外の基礎知識を身につけ、思考の範囲を広げることができました。

また、専門分野やサークルなどにも全力で取り組み、皆さんの学生生活がより充実したものになることを祈っています。

医学部
医学科 2年

古山 和樹

(ふるやま かずき)



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学生活に多少の不安を抱いている方もいるかと思います。なので自分からは基盤共通教育の魅力について伝えたいと思います。

多くの学生が集まる基盤共通教育では学部の垣根を超えて交流することが可能です。様々な人と出会い、刺激を受けることができることが魅力の一つです。皆さんにとって貴重な経験となると思います。

農学部
食料生命環境学科 2年

小池 淳皓

(こいけ あつひろ)

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます！ いよいよ大学生な日々が始まりますね。きっとワクワクしていると思います。私も入学当初は毎日、ふわふわしていました。

1年次で経験する新たな生活やサークルやバイト、そして基盤共通教育は人生において大きく成長できる数少ないチャンスです。今までの自分の枠から飛び出して、新しいことをどんどんやってみましょう！

利用してね

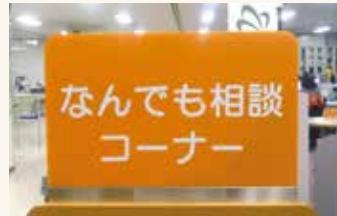
学生のみなさんにご利用いただける
便利で頼もしい情報

なんでも相談コーナー

学生センター入口に「なんでも相談コーナー」があります。「落し物をした」「教室はどこ?」「先生の研究室は?」という質問から、「どこに聞いたらいいいのかわからない」「誰に相談したらよいかわからない」ことなど文字どおり、なんでも、どんなことでも相談に応じます。

近年では、学生間の金銭トラブル、宗教の勧誘、一人暮らしにおける不審者との遭遇などの相談が多くなっています。怪しいと感じたら、気軽に応じずに、よく考えて行動するようにしましょう。相談内容について秘密は厳守します。

学生生活がより充実するためのお手伝いをしたいと思いますので、一人で悩まないで、お気軽に立ち寄りください。



利用時間／平日 8:30～17:00

学生用多目的室



学生用多目的室は基盤教育1号館東側にあり、自習やサークルの話し合い、休憩の場など誰でも自由に利用することができます。

LANケーブル及び無線LANも設置していますので、各自が持ち込んだPCでインターネットを利用することもできます。

さらに、学生用多目的室は国際交流ラウンジと隣り合っています。人と人との繋がりの輪を広げたい、様々な文化と触れ合いたいという方にはとてもよい機会になるかもしれません。

利用時間／平日 7:30～19:00

証明書自動発行機

学生用多目的室に、証明書自動発行機を2台設置しています。在学証明書・成績証明書・学割証・健康診断証明書を、自らがタッチパネルを操作することにより、その発行を受けることができます。



利用時間／平日 8:30～17:00

IC学生証で出席&安否確認



本学では、基盤教育棟の各教室の壁に設置しているICカードリーダーで学生のみさんの安否確認と授業の出席確認を行っています。

授業を受ける際は、教室に入ったらICカードリーダーに学生証をかざしましょう。

3日続いて学生証をかざさないと、大学からみなさん宛てに確認のためメール連絡を行います。4～5日欠席が続くと電話連絡、それでも連絡がつかない場合はみなさんの安否確認のため保護者宛てに電話連絡を行います。

また、試験や各種証明書の発行等、大学生活では使用する機会が多いので、常に学生証を携帯しましょう。

基盤教育3号館改修工事のお知らせ

基盤教育3号館は改修工事を行っています。(平成30年3月末まで)

通行の際は、工事車両や通行規制にご注意ください。

自転車は指定された区域に整理して駐輪してください。



蔵王連峰の標高1,350mに位置し、新緑の春、高山植物が咲き乱れる夏、紅葉の秋、そして国際的スキー場となる冬と、四季を通じて山形を感じられる絶好の場所です。利用料金は、二食付き2,500円と低料金ですので、サークルの合宿、または気の合った仲間同士で利用してみてはいかがでしょうか。

休業日

毎週月・火曜日・祝日

申込先

<小白川地区>

学生課(課外活動担当)
TEL.023-628-4121

<米沢地区>

工学部学務課(学生支援担当)
TEL.0238-26-3017

<飯田地区>

医学部学務課(学生支援担当)
TEL.023-628-5053

<鶴岡地区>

農学部(学務担当)
TEL.0235-28-2808



現在、山形大学には28ヶ国・地域からの留学生約240名が在籍し、各学部・大学院研究科の正規課程で学ぶ留学生や、山形大学の海外協定校からの交換留学生として半年から1年間山形大学で学ぶ留学生等がいます。

＜お問い合わせ先＞
留学支援担当(学生センター)
TEL.023-628-4927
FAX.023-628-4120
E-mail.
kmryug@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

留学生との交流

交流行事等に関する情報を、各学部掲示板等でお知らせしますので、興味のある方はぜひご参加ください。

また、山形大学の学生も半年から1年の間海外協定校へ交換留学生として派遣しています。

海外で学ぶチャンス

例年、5月及び10月頃に交換留学制度の説明会を開催しています。詳しく知りたい方は、留学支援担当へお問い合わせください。(学部独自の交換留学制度については各学部窓口へお問い合わせください。)

交換留学制度について

- 現在交換留学制度があるのは、次の33ヶ国・地域の82機関。
アメリカ、アルメニア共和国、イギリス、インドネシア、エストニア、オーストラリア、オランダ、カナダ、韓国、ケニア、イスラエル、スペイン、スリランカ、タイ、台湾、タンザニア、チェコ、中国、チリ、ドイツ、パキスタン、フィリピン、フランス、ブルネイ、ベトナム、ベナン共和国、ペルー、ボリビア、マレーシア、モンゴル、ラトビア、リトアニア、ロシア
- 授業料は新たに留学先の大学に支払う必要はなく、授業料以外の必要経費、往復の航空費、宿舎費、生活費などは自己負担。
- 交換留学中に修得した単位は、山形大学の卒業に必要な単位として認定することが可能。ただし、単位の認定については各学部で状況が異なるため、事前に相談、計画的な履修により、通常の在学期間で卒業が可能。

山形大学には、学術研究活動や課外活動等で顕著な業績を挙げた学生や学生団体のみなさんを表彰する制度があります。

本件担当:教育・学生支援部
学務課学務担当
023-628-4841



学生表彰

みなさんが様々な活動で挙げられた顕著な業績を賞し、山形大学長が表彰します。

(表彰基準)

- 全国規模または国際的規模の学会、競技会、展覧会で表彰、入賞する等の高い評価を受けた場合。
- ボランティア活動等の各種社会活動で、公共団体等から表彰を受け顕著な活動が認められた場合。など

奨励表彰

みなさんの様々な活動に対して、奨励、激励、感謝を表すため、教育・学生支援担当副学長が表彰します。

(表彰基準)

- 学術研究活動において新聞等に掲載され、社会的に高い評価を受けた場合。
- 東北地区または東北地区を含む複数の地区が合同で行う競技会、展覧会、公演等に出場し、入賞した場合。
- ボランティア活動、犯罪防止活動、災害防止活動等の社会活動において、新聞等に掲載され、社会的に高い評価を受けた場合。など

山形大学では、入学前に納めていただいている諸納付金の中に、以下の2つの保険の保険料が含まれていますので、諸納付金を納めていただいた方については、これらの保険に加入していることになります。

1)学生教育研究災害傷害保険(略称:学研災)

正課中、学校行事中、課外活動中及び通学・施設間移動中における不慮の災害事故によって、身体に障害(ケガ)を被った場合に補償される保険で、安心して教育をうけられるよう全員が加入することになっています。

2)学研災付帯賠償責任保険(略称:付帯賠責)

「学研災」に加入している場合は、この「付帯賠」にも加入でき、本学では「学研災」とセットで加入いただいている。この保険は、正課活動中の事故等により、他人にケガをさせたり、他人のものを損壊したことにより法律上の損害賠償責任を負担する事によって被る損害について補償されます。

<お問い合わせ先>
学生課(学生企画担当)
TEL.023-628-4133

学生課 からの お知らせ

保健管理センターは、あなたの心と体の健康管理のお手伝いをする専門施設です。お気軽にご利用ください。医師、看護師、カウンセラーが相談に応じます。

a.健康相談

自分の身体や健康が心配な時、医療機関を紹介してほしい時など、日常的なことから生理不順や生理痛、性感染症等に関するここまで幅広く医師と看護師が毎日相談に応じています。個人のプライバシーには十分に配慮していますので、お気軽にご利用ください。

b.应急処置・休養

怪我をした時や急に具合が悪くなった時など、医師・看護師が応急処置をします。必要に応じて医療機関を紹介します。

重要

保護者(保証人)と別居する人は自分の健康保険証(自分の氏名が記載された家族(被扶養者)の保険証又は遠隔地被保険者証)が必要です。保護者(保証人)の保険証のコピーでは使用できませんので、すぐに保護者(保証人)に頼んで準備してもらいましょう。

c.定期健康診断

毎年、春に健康診断が行われます。日時については、キャンパス内掲示板及び当センターホームページでお知らせします。毎年必ず受診してください。また、すべての項目受診後には証明書自動発行機より、健康診断証明書が発行できます。結果通知を兼ねておりますので、必ず発行し確認してください。

d.自己測定

身長計、体重計、全自动血圧計、視力検査器、体組成計など自由に測定できます。健康管理に役立てください。

保健管理センターには学生相談室があります。悩みごとや問題に対して自分で解決できるように、医師・カウンセラー(臨床心理士)と一緒に考えてくれます。秘密は固く守られます。性格テストや箱庭療法を受けてみたい人もどうぞお気軽にご利用ください。

利用時間 8:30 ~ 17:00

(土・日曜日、祝日を除く)

TEL.023-628-4154(ナース室)

E-mail.

nsroom@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

ホームページ.

<http://www.yamagata-u.ac.jp/hoken/index.htm>

障がい学生支援センター

障がい学生支援センターは、平成27年4月より開設されました。障がい学生支援センターでは、障がいのある学生さんが不安や困難を感じることなく、充実した学生生活を送ることが出来るように、各教育組織と連携を図りながら支援します。

障がいのある学生さんはもちろん、周りの友達や先生方なども、障がい学生支援に関して困っていることがありましたら、お気軽にお問い合わせください。

次のような場合は、障がい学生支援センターへお問い合わせください。

- ①障がい学生が、支援の相談や依頼をしたいとき
- ②個々人に適した、より具体的な支援内容を知りたいとき
- ③身近に障がい学生がいるが、どのように支援したらよいのか分からぬとき

■利用時間 8:30~17:00

■場所 理学部1号館2F

■TEL 023-628-4922

FAX 023-628-4485

■E-mail:

shougai-shien@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

犯罪者になる危険性

少しの気の緩みで…

バレなければOK。

なんて思わない。軽い気持ちが、万引きなどの大きな罪を犯してしまう危険があります。

他人の自転車や傘を勝手に持ち出して使用しないこと!

SNS等利用の際に、相手への誹謗中傷等の軽率な内容の書き込みを行わないこと!



急性アルコール中毒

歓迎ムードに流されたり、先輩に勧められて

急性アルコール中毒で **救急搬送** 実は未成年だった…。

自分が苦しい思いをするだけでなく、周りの人にも影響があります!



生活習慣の乱れ

大学に入って新しい友達ができた!
授業が終わってからもみんなで遊んで楽しい!

寝過ごした。授業に間に合わない。

今日だけ休もう。

「1日だけ、今日だけ」積み重なれば、「今日も、明日も」休もうかな。

生活習慣の乱れにつながり、
大学に行くきっかけを失うことに…

ご注意 ください

楽しい学生生活をおくるために

「自分は大丈夫」と思っていないませんか?待ちに待った大学生活も一歩間違えれば、あなたを信頼している人を裏切る結果になってしまいます。日頃の心構えや意識で危険や予期せぬ事態に備えましょう。



予期せぬ事態に備える

日頃の心構えで防げる危険がある

いつ、どこで何が起こるか分かりません。
今、できることを考えましょう。

避難経路、
避難場所の確認

災害時の
緊急連絡先の確認



① 学生のみなさんへ

何かが起きてからでは手遅れです。
自分で考えて決めることが重要ですが、ひとりで判断することが難しいこともあるはずです。

周りをよく見てください。
保護者や友達が救いの手を差し伸べています。

ひとりで悩まず相談しよう。
「学生生活ハンドブック」にも、いろいろな例や内容が載っています。確認してみましょう。相談することで悩みから解放される近道がみつかります。

② 保護者のみなさんへ

慣れない環境、初めてのことばかり。
学生にとって最初は慣れないことばかり。ストレスを溜め込むことがあるかもしれません。

保護者のみなさんの言葉が大切。
定期的に連絡を取ってください。様子を確認するためだけでなく、コミュニケーションによって気持ちが楽になることもあります。

NO!と言う強い意志を持つ

勧誘などで不信感を持ったら断る勇気

カルト教団などの怪しい団体は、親元を離れたみなさんを巧みな話術や強引な手口で入会を勧めてきます。

安易に自分の
情報を教えない

入会の意思がない
場合は、ハッキリ断る

サークル等で先輩や友達の悪ふざけ
行為に誘われたら断る!

目撃した場合も
含めて保護者や
教職員に相談!



病気や事故の危険性

意外と身近に病気や事故の危険性が

大学生になって一人暮らしを始めたときに
気をつけたいのが病気!!

少しでも調子が悪いと思ったら、
病院に行き保護者や友達に連絡!!

大学生になって自転車やバイクで移動する
人も多くなります。気をつけたいのが事故!!

被害者や加害者にならないように
常に気をつけて行動しましょう



時間割を作成しよう!!

必要なもの

- 基盤共通教育案内
- 各学部便覧
- シラバス
- 基盤共通教育授業時間割

1 実際に授業を組んでみよう!!

1) 基盤共通教育の必修科目を入れよう。(全学部共通)

1年生で必ず取らなければならない授業は、次の授業だよ!!

- スタートアップセミナー

月・火・木・金曜日の決まった時間に開講されるよ。
クラス分けされているので、自分のクラスや担当の先生の名前に間違いかないかしっかり確認しよう。
全学部共通なので、他学部の人との交流の機会にもなるよ。

- 総合英語、コミュニケーション英語

総合英語、コミュニケーション英語ともに週1回の授業だよ。
どちらの授業もクラス分けされているので、自分のクラスや担当の先生の名前に間違いかないかしっかり確認しよう。

- 人間を考える・共生を考える

人間を考える・共生を考えるは各曜日の決まった時間に開講されるよ。

- 山形から考える

全学部共通なので、他学部の人との交流の機会にもなるよ。

※基盤共通教育授業時間割の左頁に記載されているよ。

2) 学部ごとに指定された基盤共通教育の授業を入れよう。

学部ごとに受講が指定されているのは、次の授業だよ。

- コミュニケーション・スキル2

この授業は、クラス分けされているよ。
自分が履修すべきクラスを確認しよう。コミュニケーション・スキル2は、火曜日と金曜日の週2回の授業がペアになっているよ。
コミュニケーション・スキル2と情報処理は、学部・学科によって必修かどうかが異なるので注意。

「基盤共通教育案内」や「学部の便覧」で必ず確認しよう!!

※基盤共通教育授業時間割の左頁に記載されているよ。

学生生活ハンドブック

2017 第二期 School						
	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
1~2校時						
3~4校時						
5~6校時						
7~8校時						
9~10校時						
11~12校時						
13~14校時						
15~16校時						
17~18校時						
19~20校時						
21~22校時						
23~24校時						
25~26校時						
27~28校時						
29~30校時						
31~32校時						
33~34校時						
35~36校時						
37~38校時						
39~40校時						
41~42校時						
43~44校時						
45~46校時						
47~48校時						
49~50校時						
51~52校時						
53~54校時						
55~56校時						
57~58校時						
59~60校時						
61~62校時						
63~64校時						
65~66校時						
67~68校時						
69~70校時						
71~72校時						
73~74校時						
75~76校時						
77~78校時						
79~80校時						
81~82校時						
83~84校時						
85~86校時						
87~88校時						
89~90校時						
91~92校時						
93~94校時						
95~96校時						
97~98校時						
99~100校時						
101~102校時						
103~104校時						
105~106校時						
107~108校時						
109~110校時						
111~112校時						
113~114校時						
115~116校時						
117~118校時						
119~120校時						
121~122校時						
123~124校時						
125~126校時						
127~128校時						
129~130校時						
131~132校時						
133~134校時						
135~136校時						
137~138校時						
139~140校時						
141~142校時						
143~144校時						
145~146校時						
147~148校時						
149~150校時						
151~152校時						
153~154校時						
155~156校時						
157~158校時						
159~160校時						
161~162校時						
163~164校時						
165~166校時						
167~168校時						
169~170校時						
171~172校時						
173~174校時						
175~176校時						
177~178校時						
179~180校時						
181~182校時						
183~184校時						
185~186校時						
187~188校時						
189~190校時						
191~192校時						
193~194校時						
195~196校時						
197~198校時						
199~200校時						
201~202校時						
203~204校時						
205~206校時						
207~208校時						
209~210校時						
211~212校時						
213~214校時						
215~216校時						
217~218校時						
219~220校時						
221~222校時						
223~224校時						
225~226校時						
227~228校時						
229~230校時						
231~232校時						
233~234校時						
235~236校時						
237~238校時						
239~240校時						
241~242校時						
243~244校時						
245~246校時						
247~248校時						
249~250校時						
251~252校時						
253~254校時						
255~256校時						
257~258校時						
259~260校時						
261~262校時						
263~264校時						
265~266校時						
267~268校時						
269~270校時						
271~272校時						
273~274校時						
275~276校時						
277~278校時						
279~280校時						
281~282校時						
283~284校時						
285~286校時						
287~288校時						
289~290校時						
291~292校時						
293~294校時						
295~296校時						
297~298校時						
299~300校時						
301~302校時						
303~304校時						
305~306校時						
307~308校時						
309~310校時						
311~312校時						
313~314校時						
315~316校時						
317~318校時						
319~320校時						
321~322校時						
323~324校時						
325~326校時						
327~328校時						
329~330校時						
331~332校時						
333~334校時						
335~336校時						
337~338校時						
339~340校時						
341~342校時						
343~344校時						
345~346校時						
347~348校時						
349~350校時						
351~352校時						
353~354校時						
355~356校時						
357~358校時						
359~360校時						
361~362校時						
363~364校時						
365~366校時						
367~368校時						
369~370校時						
371~372校時						
373~374校時						
375~376校時						
377~378校時						
379~380校時						
381~382校時						
383~384校時						
385~386校時						
387~388校時						
389~390校時						
391~392校時						
393~394校時						
395~396校時						
397~398校時						
399~400校時						
401~402校時						
403~404校時						
405~406校時						
407~408校時						
409~410校時						
411~412校時						
413~414校時						
415~416校時						
417~418校時						
419~420校時						
421~422校時						
423~424校時						
425~426校時						
427~428校時						
429~430校時						
431~432校時						
433~434校時						
435~436校時						
437~438校時						
439~440校時						
441~442校時						
443~444校時						
445~446校時						
447~448校時						
449~450校時						
451~452校時						
453~454校時						
455~456校時						
457~458校時						

3) 専門教育科目を入れよう。

学部ごとの専門教育科目は、基盤共通教育授業時間割の左頁に記載されているよ。

[注意]

各学部の専門教育科目は、基盤共通教育授業時間割に記載されていますが、基盤共通教育の授業とは異なるので、しっかりと区別しよう。卒業や進級のために、どの授業を履修しなければならないか?何単位必要なのか?等、詳しいことについては学部ごとの便覧で確認しよう!



わからないこと、
不安なことがあれば、
1人で悩まず、相談しよう!

ここまで作成してきた
時間割を1度
チェックしよう!!

基盤共通教育授業時間割(左頁)

は、左頁に記載されている
専門教育科目。

4) 教養科目を入れよう。

教養科目は、基盤共通教育授業時間割の右頁に記載されているよ。
今まで作成してきた自分の時間割の空いている所に
授業を入れていこう。

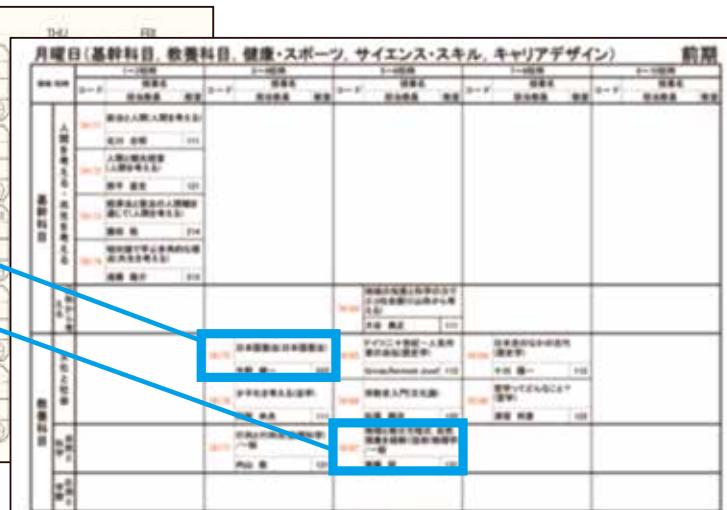
[注意]

【上記】
共通科目のスポーツ実技は、基盤共通教育授業時間割の左頁に載っているよ。



さあ、ラストは
自分の受けたい授業、
興味のある授業を
入れていくよ!

基盤共通教育授業時間割 月曜(右頁)



2 作成した時間割を確認しよう!

これまでの項目を踏まえて、
自分が作成した時間割に間違えがないか
必ず確認しよう!!

特に注意してほしいのは

特に注意してほしいのは

1. 時間割コード
 2. 授業名
 3. 教員名

この3つを間違えて授業を登録してしまうと、成績に影響してくるので、よく確認してから授業を登録しよう!!

自分で作成した時間割で問題ないか気になるよね。それに授業はいくつ取ればいいのかなど、次から次へと頭を悩ます問題がでてくる。そんなときのために、アドバイザーの先生もいるし、学習相談室などもあるんだ!!

みなさんはサポートするのは、先生方だけではありません。学生センター内の基盤教育担当や各学部教務担当の窓口でも、時間割等の質問にいつでも答えるよ!!聞くことは恥ずかしいことじゃないので、気軽に声をかけてくださいね!!

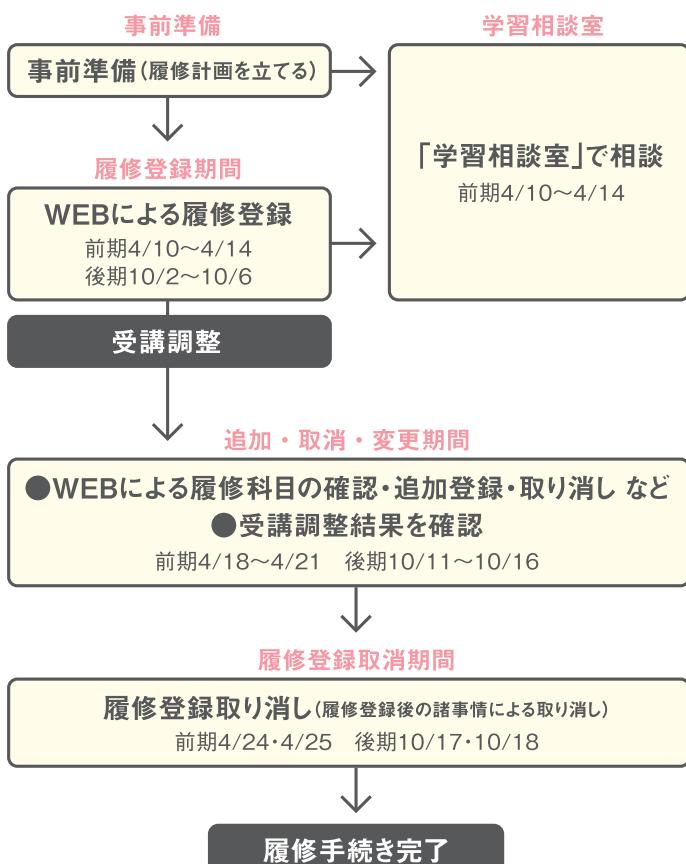
学部ごとに
履修の方法が異なるよ!!
基盤共通教育案内をよく読んで
確認しよう!!



時間割を作成してみた。
でも不安だ。そんな時は!!

授業が始まると、学習相談室が開設され、時間割作成や履修登録以外の質問にも先生が答えてくれるよ。また学部ごとに授業の取り方が異なるよ。でもみなさんにはアドバイザーの先生が付いているよ。自分の時間割を見てもらおう。

【履修登録の流れ】



【学内の履修登録できる場所】

基盤教育1号館	・情報処理教室1 ・情報処理教室2	平日 8:30～17:00 ※授業で使用している時間帯を除きます。
情報ネットワークセンター	・第1、2、3実習室	平日 9:00～17:00 ※授業で使用している時間帯を除きます。
小白川図書館	・情報検索エリア	平日 8:15～20:50



「基盤共通教育 ニュースレター つばさ」についての
ご意見・ご感想をお寄せください

〒990-8560 山形市小白川町1-4-12
山形大学学生センター内 基盤教育担当
FAX : 023 (628) 4836
E-mail : kmkyom-you@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

平成29年度行事予定

前期 4月1日～9月30日
後期 10月1日～平成30年3月31日

平成29年(2017)

4月4日(火)	入学式
4月5日(水)～7日(金)	前期オリエンテーション
4月10日(月)	前期授業開始 学習相談室開設(14日(金)まで) 履修登録開始(14日(金)17時まで)
4月18日(火)	履修追加登録・変更期間(21日(金)17時まで)
4月24日(月)	履修取消手続期間(基盤教育担当窓口) (25日(火)17時まで)
5月23日(火)～26日(金)	内科検診(各日の午後)
5月29日(月)・30日(火)・6月7日(水)～9日(金)	第1ターム(週2回授業)終了
7月28日(金)	前期授業終了
7月25日(火)・31日(月)・8月2日(水)・3日(木)・4日(金)	第2ターム(週2回授業)終了
7月25日(火)・31日(月)・8月2日(水)・3日(木)・4日(金)	前期補講期間(5日間):通常の曜日・校時で実施
8月5日(土)	夏季休業(9月30日(土)まで)
9月29日(金)	後期オリエンテーション
10月2日(月)	後期授業開始 履修登録開始(6日(金)17時まで)
10月11日(水)	履修追加登録・変更期間(16日(月)17時まで)
10月15日(日)	開学記念日(休業日のため授業はありません)
10月17日(火)	履修取消手続期間(基盤教育担当窓口) (18日(水)17時まで)
11月21日(火)・22日(水)・27日(月)・30日(木)・12月1日(金)	第3ターム(週2回授業)終了
12月2日(土)	TOIEC IP テスト
12月9日(土)	TOIEC IP テスト 追試験
12月25日(月)	冬季休業(平成30年1月10日(水)まで)

平成30年(2018)

1月11日(木)	授業再開
1月12日(金)	休業 (大学入試センター試験準備のため、授業はありません)
2月9日(金)	後期授業終了
2月6日(火)・7日(水)・8日(木)・16日(金)・19日(月)	第4ターム(週2回授業)終了
2月6日(火)・7日(水)・8日(木)・16日(金)・19日(月)	後期補講期間(5日間):通常の曜日・校時で実施
2月20日(火)	春季休業(平成30年度入学式まで)

基盤共通教育 ニュースレター

つばさ
TSUBASA

発行: 2017年(平成29年) 4月 第1号
編集: 山形大学基盤共通教育実施部会議